

表象メディア論系 新二年生ガイダンス

2021年3月

文化構想学部新2年生の皆様、
表象・メディア論系運営主任の石岡良治です。

そして表象・メディア論系へようこそ！
これから卒業までよろしくお願いします。
2020年度はコロナ禍のため、オンライン授業が多く、
入学前に予想していたキャンパスライフとは、
だいぶ違ったものになってしまった方も多いと思います。

そして2021年度は演習を中心に対面授業になりますが、
予断を許さない状況にあることは変わりありません。
また大人数講義を中心にオンデマンド講義も増えるので、
単位取得のイメージがつかみにくい方も多いと思います。

表象メディア論系がどんなところなのかについて、
すでにある程度ご存知だと思いますが、
改めて簡単に紹介したいと思います。



詳しくは表象メディア論系HPをご覧ください
<http://hyosho-media.com>

何はともあれ、
今、実際、
目に見えているもの、
耳に聞こえているもの、
それが表象だ。

その表象を運ぶもの、
世界とわたしたちを結ぶもの、
それがメディアだ。

だとしたら、
今この世界に、
表象もメディアも
関係ないものなんて、
ある？

表象・メディア論系では、
これまで人類が生み出してきた、
そしてこれから生み出していくであろう、
多種多様な文化・芸術活動を、
メディア・身体・イメージという、
3つのキーワードを切り口に分析します。



Studies
in
Media,
Image,
and
Body

メディア論プログラム

■「メディア」とは世界や現実アクセスする回路のことだ。だから、書物、新聞、雑誌、写真、ラジオ、テレビ、映画、インターネット、携帯電話等はもちろん、人間の身体もまたメディアであると言える。

■メディア論プログラムでは、上記のメディアのほか、メディアアート、演劇、文学、アニメ、マンガ、CG、ロボットなど、私たちを取り巻くさまざまな事象や芸術・文化、社会の現在・過去・未来について思考する。

身体論プログラム

■現代に生きる君たちは、あらゆるものがヴァーチャル化され、どれが本物なのか、どれが実質をもったものなのか、疑問に思う場面が少なくないだろう。人間の身体も、例外ではない。それはヴァーチャル化され、実感を失い、浮遊しつつある。

■身体論プログラムでは、私たちに唯一生きている実感を与えてくれるはずの身体と、どのように向き合っていくべきかを君たちとともに考えていきたい。

イメージ論プログラム

■ イメージ論プログラムでは、芸術におけるイメージを対象とすると共に、**イメージを理論的、原理的に追求すること**を目指す。映像や造形芸術はもちろん、書画同源という言葉が示すように、言語芸術の中にもイメージの相はふんだんに存在している。

■ 授業では、様々な時代の芸術イメージ、ジャンル相関的なイメージ、種々のテーマにそったイメージ、イメージの理論等々を学んでいく。

表象・メディア論系所属の教員

表象・メディア論系は以上3つのプログラムから成り立っています。

所属教員は以下の通りです。

先生方はみな、多種多様な関心から研究に取り組んでおり、皆様の興味関心に近い分野の先生がきっとみつかることと思います。

メディア論

岡室美奈子

長谷正人

藤本一勇

ドミニク・チェン

辻佐保子

身体論

宮沢章夫

村井翔

和田修

坂内太

細馬宏通

イメージ論

大石雅彦

関直子

橋本一径

石岡良治

表象・メディア論系所属の教員

表象・メディア論系についてのイメージをつかんでいただくためには、各先生の講義や演習に参加することが一番手っ取り早いのですが、3つのプログラムの入門となる以下のリレー講義をおすすめします。

(授業一覧はこちらになります <http://hyosho-media.com/about/schedule>)

■メディア論1(春学期)／メディア論2(秋学期)

■身体論1(春学期)／身体論2(秋学期)

■イメージ論1(春学期)／イメージ論2(秋学期)

表象・メディア論系のゼミ

表象・メディア論系では3年生になるとき、
論系ゼミ・卒業研究のいずれかを選ぶこととなります。
次年度は以下のゼミを募集する予定です（※特別研究期間の先生は代講になります）。

幻影論ゼミ（岡室先生） メディア社会論ゼミ（長谷先生）
メディア思想ゼミ（藤本先生） 発酵メディア研究ゼミ（チェン先生）

文化身体論ゼミ（宮沢先生） 身体精神分析ゼミ（村井先生）
身体表象論ゼミ（坂内先生） 身体行為論ゼミ（細馬先生）

イメージ分析ゼミ（橋本先生） イメージ批評ゼミ（石岡）
視覚イメージ論ゼミ（関先生）

専門演習受講のすすめ

2年生は「専門演習」を受講することができます。
論系ゼミ・卒業研究をどうするのかについては、
関心のある先生の専門演習に参加することも重要です。

卒業までには表象メディア論系の専門演習の単位を、
ゼミに入る方は16単位(8科目分)
卒業研究の方は24単位(12科目分)
取得する必要があります。

40人制限があるので「0次登録」を忘れないように！

表象・メディア論系室のご案内

表象メディア論系の論系室は33号館8階にあります(0803号室)。

質問などがある場合、例年は論系室を訪問していただければ、
講師や助手の方々に応答していただけるのですが、
次年度も論系室への立ち入りが困難な状況が生じるかもしれません。

お問い合わせは次のアドレスまで
「表象・メディア論系室」宛でよろしくお願いします。

contact@hyosho-media.com

早稲田大学文化構想学
表象・メディア論系

xett
セ

第8号 March 20

憶の痕跡

10周年特別企画
年の〈記憶〉

表象・メディア論系誌 xett(セット)の紹介

最後に、表象・メディア論系の学生が企画・編集し、毎年一回発行する情報誌xett(セット)を紹介します。
(<http://www.hyosho-media.com/xett>)

毎年6月半ばに開催されている「2年生大懇親会」もxett編集部によるものです。
(今年はzoom懇親会でした)

36号館381(映像関係共通室)で
水曜5限に活動しています。

編集や記事執筆に関心のある方は、
随時募集中ですのでコンタクトを取ってください。
(xett@hyosho-media.com)

以下SNSからDMも送れます。Twitter ID: @xett_ed

表象・メディア論系の
ガイダンスは
以上になります。

ありがとうございました。
